

里山に遊ぶ 里山を学ぶ 里山で働く

森と人の暮らしが共存する里山で、面白いこと楽しいことを始めてみませんか。
例えば、秩父の里山で、遊び、学び、働く、「里山資本主義」はいかがでしょうか。
里山の人ばかりでなく都市に暮らす人も森を楽しみましょう。
里山に人が集まれば、豊かな森を作ることができます。豊かな森ができれば、都市も森も環境が改善され、潤いのある暮らしが実現できます。
今回のセミナーを皮切りに、「山あいの里ファンクラブ楽校」連続講座（仮称）も始めます。ぜひ、一緒に学びましょう！

参加
無料
定員 100名
要申込・先着順

日時 平成 29 年 7 月 17 日 **月** 祝日 13:30-16:30

会場 秩父市歴史文化伝承館 1 階 研修室



澁澤 寿一氏
(しぶさわ じゅいち)

1952 年、東京生まれ、東京農業大学大学院博士課程修了。「澁澤事務所」代表（澁澤栄一曾孫）

1980 年、国際協力事業団（JICA）専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴く。帰国後、テーマパーク「長崎オランダ村」、循環型都市「ハウステンボス」の設立に携わり、取締役として、社長室長、法人営業部長、東日本営業本部副本部長等を歴任。

環境教育の面では、豊田市・トヨタ自動車・NPO 共催の新環境教育プログラム「豊森（とよもり）なりわい塾」、真庭市・共存の森ネットワークの共催「真庭なりわい塾」の実行委員長を務め、過疎地に定住する若者の育成を進めながら、多業社会の実現を目指す。

社会づくりでは、バイオマスを活用した地域づくり事業を手がけ、岡山県真庭市では「資源循環型事業連携協議会」会長、「真庭市バイオマス利活用計画策定委員会」委員長など「里山資本主義」の実現につとめる。

プログラム予定

13:30 -13:35	挨拶
13:35 -15:05	基調講演「里山資本主義のすすめ」 澁澤 寿一氏 農学博士 認定 NPO 法人「共存の森ネットワーク」理事長
15:05 -15:25	本事業の説明
15:30 -16:30	パネルディスカッション「里山で遊び、働くには！」 パネリスト 澁澤 寿一氏 今井 教夫氏 埼玉県立秩父農工科学高等学校 教諭 坪内 浩氏 レストラン「サルベージ」オーナー 他

主催：特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉 共催：都市と森をつなぐ環境事業推進協議会
後援：秩父市・さいたま市

※本セミナーは、平成 29 年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

参加を希望される場合は、裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

都市と森でつながる地域の未来セミナー参加申込書

必要事項をご記入のうえ、FAX またはメールにてお申し込みください。

メールの場合は、本文に下記項目を全て入力し、送信ください。

FAX : 048-749-1218 メール : info@kannet-sai.org

お名前	(ふりがな)
お住まい	市・区 町・村
ご所属	一般参加の場合、ご記入は不要です。
連絡先	ご連絡のつくメールアドレスもしくは電話番号をご記入ください。

* 申し込みは先着順です。定員（100名）に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡します。

その際、ご記入いただいた「連絡先」にご連絡します。

* 個人情報は申込受付以外では使用しません。

会場アクセス

秩父市歴史文化伝承館 1階 研修室

〒368-8686 秩父市熊木町 8-15

秩父鉄道本線「御花畑」徒歩約 2分

西武秩父線「西武秩父」徒歩約 5分

* なるべく公共交通機関をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

(埼玉県地球温暖化防止活動推進センター)

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5

埼玉県浦和合同庁舎 3階

TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218

E-mail:info@kannet-sai.org

URL:http://www.kannet-sai.org/



都市と森をつなぐ環境事業推進協議会とは

荒川の上流に位置する埼玉県秩父の森林地域と、下流のさいたま市等の都市をつなぎ、都市の住民・企業が森林への理解を深め、森林による恩恵（例えば水の浄化等）を環境価値として認めることによって、将来的に都市も森も共に発展する持続可能な社会の実現を目指すことを目的に平成 24 年度に組織化しました。

当協議会は、さいたま市及び秩父地域の行政、経済団体、教育関係者、森林・林業関係者等を構成員とし、さいたま市長、秩父市長と当協議会会長の三者で協力協定を交わしています。当協議会を中心に、秩父の森林地域において環境教育、グリーンツーリズム、CSR 等の活動基盤を作り、環境保全活動の推進とともに地域の活性化も目指します。